

平成18年5月18日

各 位

会 社 名 北越製紙株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 三輪 正明  
コード番号 3865 東証1部 大証1部  
問 合 せ 先 取締役企画財務部長 赤川 公一  
電 話 03-3245-4578

## 塗工紙生産設備増設について

当社は長期的な視点に立ち、品質とコストにおける国際競争力を一層強化するために、新潟工場に4基目のオンコーターマシンによる塗工紙生産設備を設置することを決定致しました。

当社は明年、設立100年を迎えることとなります。この間、紙素材を提供することにより社会経済の発展と生活文化の向上に努めて参りました。国内の紙市場は、従来からの北欧並びに北米からの輸入紙に加え、最近では中国をはじめとしたアジア地域の大型最新設備による生産能力の拡大により、印刷情報用紙全般に亘り、国内市場とアジア市場の一体化が急速に増す様相を呈しております。

このような中において当社は、高品質の印刷情報用紙(塗工紙)を安定かつ迅速に提供することにより海外メーカーと競争可能な企業基盤を確立することが肝要であり、国内メーカーの果たすべき役割であると判断致しております。

当社は、従来から国内外のお客様の要望に応えるカスタマーオリエンテッドを基調とした営業販売を行って参りました。この間、情報伝達記録媒体としての紙は、一層のカラービジュアル化とともに軽量化が進みながらも、塗工紙全体の国内需要は増加しております。これまで当社は、主に塗工紙の生産販売に傾注して参りましたが、当社の品質と環境に対する先進的な取り組みに対しご理解を頂いた結果、ご要請に対する生産能力が不足するようになって参りました。従いまして現状不足している塗工紙の生産能力を増強し、今後の長期的な品質とコストにおける国際競争力の強化も考慮して、優れた品質と省資源・省エネルギー生産が可能な最新技術を駆使した新塗工抄紙機の設置が必要と判断致しました。

新抄紙機は、現在当社新潟工場にある塗工紙生産設備と同じくオンマシンコーターと致します。当工場において4基の塗工抄紙機による生産体制が整うことにより、多岐に亘る市場ニーズに対して安定した品質の塗工紙をより柔軟、且つより迅速に受注生産することが可能となります。

今次の計画は国内市場に及ぼす影響を考慮し、国内外企業に向けたOEM(相手先ブランドによる製造)並びに国内外の企業の垣根を超えたスクラップ&ビルドを進めるとともに、従来から取引頂いている東南アジア・オセアニア・北米市場に加え新規の海外ユーザーも開拓する予定であります。あわせて、新抄紙機を生産能力を段階的に機能させる原料工程・仕上げ工程設備の導入を図ることにより、受注に即した生産販売を行って参ります。

新設備で製造する紙は、管理された植林木チップを使用するとともに、既設8号回収ボイラー並びに現在建設中の製紙汚泥焼却炉による両バイオマスエネルギーを活用することで環境との調和を目指したものになります。今後も最新技術を用いて環境負荷を一層低減した紙の提供を通して生活文化の発展に貢献して参ります。

#### 新設備の概要

- |           |                |       |       |
|-----------|----------------|-------|-------|
| 1. 設置場所   | 当社新潟工場(新潟県新潟市) |       |       |
| 2. 運転開始時期 | 2008年末(平成20年末) |       |       |
| 3. 生產品種   | 軽量コート紙         |       |       |
| 4. 設備内容   | 抄紙・塗工の型式       |       |       |
|           | オンマシンコーター      | ワイヤー幅 | 10m   |
|           |                | 年産能力  | 350千ト |
|           | 関連設備           |       |       |
|           | パルプ工程増強        |       |       |
|           | 仕上関連設備         |       |       |
| 5. 投資金額   | 550億円          |       |       |

以上